

平成25年度指定管理運営業務評価票

施設名称 ：大阪府立障がい者交流促進センター (ファインプラザ大阪)	指定管理者 ：ファインプラザ大阪運営事業共同体	指定期間 ：平成25年4月1日～平成30年3月31日	所管課 ：福祉部 障がい福祉室 自立支援課
--	----------------------------	-------------------------------	--------------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S~C		S~C	
I 提案の履行状況に関する項目	<p>①施設の設置目的 (身体障害者福祉センターA型の機能) 及び管理運営方針</p> <p>・施設の設置目的に沿った運営がなされているか。</p> <p>【指定管理者選定時の選定基準】</p> <p>1 施設の設置目的を理解しているか (交流施設であること、身体障がい者福祉センターA型施設であること)</p> <p>2 提示した管理運営方針 (「専門性の高い職員の指導」「誰もが安心してスポーツに取り組むことができる」「最小限の経費で再々効果が上がる運営」と、事業者が提案した管理運営方針に合致するか</p> <p>3 提案事業者・法人として社会貢献活動、環境活動、法令遵守などの取り組み状況</p>	<p>(1)スポーツ振興を中心に障がい者の福祉の増進</p> <p>①陸上、水泳、卓球、アーチェリー、FDなど競技別にアスリートの競技能力を高めるプログラムを体系的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>府の福祉行政に精通した者やスポーツコーチ、上級障がい者スポーツ指導員を配置</li> <li>第13回大阪府障がい者スポーツ大会を実施</li> <li>第13回全国障害者スポーツ大会に大阪府選手団を派遣</li> </ul> <p>②大学連携事業として</p> <p>「ふれあい乗馬体験講習会」を11月に開催 (連携大学=大阪府立大学)</p> <p>「ぴかっとダンス」を2月6日より開催予定 (提案6回 実施予定4回) (連携大学=大阪体育大学)</p> <p>「車イステニス練習会」を3月23日に開催予定 (提案2回 実施予定1回) (連携大学=大阪体育大学)</p> <p>③相談事業として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理学療法士の生活相談 (月1回)</li> <li>障がい者スポーツ指導員のスポーツ相談 (月2回)</li> <li>健康運動指導士の健康相談 (月2回)</li> <li>ファインプラザ利用相談 (随時) を実施</li> </ul> <p>④中級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催 8/10～2/2 受講者 11人</li> </ul> <p>(2)競技スポーツ分野の指導力を高めるための調査研究</p> <p>①障がい者スポーツの振興に関する研究会の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員に学識経験者(大学教授)、障がい者スポーツ団体、パラリンピアン、障がい者スポーツ指導員等を選定し、研究会を設置</li> <li>第一回委員会を12月18日開催</li> </ul> <p>(3)地域における障がい者スポーツを振興するための事業</p> <p>①地域スポーツ振興課を4月に設置し、参与、課長、主事の3名を配置</p> <p>②地域展開事業として、府立成美高校、泉南市立子供支援センターなど小中学校、障がい者団体等に対しスポーツ活動の支援 (提案=100件、10,000人) (実施= 49件、 7,033人 (H25.12末) )</p> <p>(4)マルチジョブ化による人件費の軽減</p> <p>①利用受付、電話受け業務等については、管理部門、事業部門の区別なく誰もが行う</p> <p>②指導現場においては、水泳のスポーツコーチがトレーニング室においてトレーニング指導を行うなど、専門分野を超えて指導に従事</p> <p>(5)省エネ対策</p> <p>①関西エコオフィス宣言にそって、冷暖房期間、適切な温度を設定</p> <p>上記の実施状況から、身体障害者福祉センターA型の機能は果たしている。</p>	A	<p>【今回の評価の前提】 (以下の評価項目も同様とする。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営開始初年度でかつ通年運営をしていないことから、実施見込みである事業等についても確実に実施できるものとして評価を行う。</li> </ul> <p>【評価の目安】</p> <p>S=提案内容以上の事業実績をあげている。 (例:市町村など身近な場所で障がい者スポーツ活動を支援した結果、活動の定着に至った。など。)</p> <p>A=提案内容どおりの事業実績をあげている。 (例:大学・企業との連携、研究会を設置し、検討を開始している。など。)</p> <p>B=提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しも立っている。 (例:研究会の設置について、具体的な調整を進めている。など。)</p> <p>C=提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 (例:館内事業のみを行い、外部団体等への普及啓発や連携活動を行っていない。など。)</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <p>(1)スポーツ振興を中心に障がい者の福祉の増進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国障害者スポーツ大会で設定されている競技種目を中心に多彩なスポーツ教室を設定するなど、提案どおりの事業を実施している。</li> <li>スポーツを社会参加の1アイテムとして取り組む障がい者に対し、相談事業の実施など直接的な支援を行うとともに障がい者スポーツ指導員の養成など間接的な支援も実施するなど、多角的な支援を提案どおり行っている。</li> </ul> <p>(2)競技スポーツ分野の指導力を高めるための調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究会について、大阪体育大学の協力による学術的な観点はもちろんのこと、パラリンピアンを招聘することでより実態に即した研究が期待できる。</li> <li>また、(1)②で記載のとおり、開催教室などにおいて大学との連携事業を実施することにより、より密接な連携を図っている。</li> </ul> <p>(3)地域における障がい者スポーツを振興するための事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提案どおり職員を3名配置</li> </ul> <p>(4)マルチジョブ化による人件費の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ指導など専門的分野を除き、一般的な利用者への接遇については、職域の範疇を超えた対応を行っている。</li> <li>スポーツ指導においては専門性を重視しつつ、指導員の配置ローテーションにより、すべての指導員が専門競技以外の指導を行っている。</li> </ul> <p>(5)省エネ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提案どおり実施している。</li> </ul> <p>・運営開始初年度であり、実施回数等において提案回数に満たない事業もあるが、総合的に見た場合には、おおむね提案内容どおりの事業実績を上げている。</p> <p>・また、今期残期間に実施している事業についても、提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しも立っていることから、提案内容どおりの事業実績をあげると見込まれる。</p> <p>・H25年度終了段階で提案未実施項目が発生した場合には、次回の評価において明確な実施担保がない事業は、未実施事業扱いとする。</p>	A	<p>(総合評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営初年度としては、全般的におおむね適正に運営されている。</li> <li>駐車料金導入により障がいのない方の利用が4割減少し、ファインプラザ大阪の設置目的である「交流」機能が著しく低下している。</li> <li>使用料確保のために大幅な利用者の減をもたらしたことは、本末転倒な状況であり、設置目的を果たすため、施設使用料の設定を行う大阪府において、早期に改善すべき。</li> </ul> <p>(個別評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マルチジョブ化によって専門性、指導力の低下を招くことの無いよう留意されたい。</li> </ul>

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S~C		S~C		
I 提案の履行状況に関する項目	② 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>・ 公平なサービス提供、対応</p> <p>【指定管理者選定時にお選定基準】</p> <p>1 事業等の内容が平等利用を担保する内容となっているか</p> <p>2 高齢者、障がい者等に対して配慮を要する事項について適切な提案がなされているか</p>	<p>(1) 特に障がい者・高齢者に配慮し、すべての利用者に平等な施設サービスの提供</p> <p>① 人権研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオによる啓発研修 等 (年1回)</li> </ul> <p>② すべての障がい種別や幅広い年齢に対応した多様なスポーツ教室等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファインプログラム (障がい者優先)</li> <li>提案24回 1,920人 実施18回 623人 (基準日12月末。以下同じ。)</li> <li>・リハスポーツ (脳卒中後遺症)</li> <li>提案24回 960人 実施36回 524人</li> <li>・リハスポーツ (重度身体障がい者個別水泳指導)</li> <li>提案252回 252人 実施119回 214人</li> <li>・アスリート強化練習会サウンドテーブルテニス (視覚障がい者卓球)</li> <li>提案6回 90人 実施3回 22人</li> </ul> <p>③ 総合受付に利用案内、送迎バス運行時刻表、料金表等を配置。</p> <p>玄関ホール右側にファインプラザ大阪、左側に障がい者スポーツ振興協会の掲示板を配置し、各事業案内、トピックス等を掲示</p> <p>また、ロビー正面には大型モニターにより事業案内などをわかり易く案内</p> <p>さらには、視覚障がい者対応として、受付前と一階エレベータ前に点字による施設・利用案内板を設置</p> <p>④ 聴覚障がい者対応として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付に基礎的手話及びスポーツ手話のできる職員を配置するとともに、筆談用用具を常設</li> <li>・イベント開催時には通訳者を配置</li> <li>・職員採用時には、「手話通訳のできる者」を条件に求人</li> </ul> <p>⑤ メールマガジンを月2回 (火曜日) に発行、スポーツ・文化事業やイベントの報告などを掲載するスタッフブログの随時更新</p> <p>また、機関紙「アベニュー」の発行及び点字版の作成</p> <p>さらに、外国語案内版の作成に向け、外国人利用状況を調査中</p> <p>(2) 管理運営にかかる情報公開請求への適切な対応</p> <p>① ファインプラザ大阪運営事業共同体情報公開規程を整備</p> <p>(3) 施設運営にかかる要望、苦情に対する迅速、適切な対応</p> <p>① ファインプラザ大阪運営事業共同体苦情解決規程を整備 (4月) し、苦情解決責任者、受付窓口担当者を指定</p> <p>また、第三者委員会を設置し、三名に委員を委嘱</p> <p>苦情件数45件 (内駐車場関係30件) (4月~12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦情例： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2階トイレの悪臭がひどい。改善をしてもらいたい。</li> <li>○ プールギャラリーの窓枠を床拭きモップで拭いていた。</li> <li>○ 交流施設と言いながら健常者から駐車料金をとり健常者を排除していくのか。</li> </ul> </li> <li>・ 改善例： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ トイレに消臭剤の設置</li> <li>○ 清掃委託業者に対し改善指導</li> <li>○ 大阪府に対して申し入れ</li> </ul> </li> </ul> <p>② ファインプラザ大阪の事業運営について、地域や利用者の視点から評価・提言を行うための運営協議会 (4月1日設置) の開催に向け準備</p> <p>③ 10月1か月間モニタリング調査を実施 (以後3か月毎に実施予定)</p> <p>また、利用者からの生の声を聴くため、施設利用者との「意見交換会」を12月15日 (日) に実施</p> <p>上記の実施状況から、平等なサービスの提供、対応が出来ている。</p>	A	<p>【評価の目安】</p> <p>S = 提案内容どおりの事業実績をあげている。 (例：提案書の内容については、すべて実施済み。など。)</p> <p>A = 提案内容どおりの事業を実施予定であり、内容についても具体的に決定している。 (例：事業実施日が到来していない。など。)</p> <p>B = 提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施見通しも立っている。 (例：事業実施の関係者調整を行っている段階である。など。)</p> <p>C = 提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 (例：研修の実施予定なし、機関誌の未発行など、事業実施の目的が立っていない。など。)</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <p>(1) 特に障がい者・高齢者に配慮し、すべての利用者に平等な施設サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の実施や案内板の設置などに加え、すべての障がい種別などに応じた教室の開催や、コミュニケーション手段を確保するなど、提案どおりの事業を実施している。</li> <li>・ メールマガジンやホームページの更新、スタッフブログなどについては、提案どおり実施しているが、機関誌「アベニュー」の発行において、印刷に要する期間を見誤ったため第2四半期分の発行ができなかったものの (印刷に要する期間 = 2カ月) 第3四半期分より提案どおり発刊している。</li> </ul> <p>(2) 管理運営にかかる情報公開請求への適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案どおり規程を制定している。公開請求は現在のところなし。</li> </ul> <p>(3) 施設運営にかかる要望、苦情に対する迅速、適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案では、四半期ごとにモニタリングを実施とあるが、運営開始初年度であることから、運営開始後半年を経過した時点でアンケート調査を実施。211名からの回答を得た。</li> <li>・ その回答を基に12月に利用者意見交換会を行うなど、利用者の意見を吸い上げる取り組みを実施している。</li> <li>・ しかしながら、意見交換会の利用者側出席者が2名であったこと、利用者側から開催周知方法の指摘を受けたこと。意見交換会終了後、他の利用者より「参加したかった。」などの意見が寄せられたこと。</li> <li>・ など、アンケートの実施や、意見交換会の開催において、実施の周知に工夫を行い回答者、参加者の増を求める。</li> <li>・ 苦情解決規定、運営協議会の設置など、提案どおりの事業を実施済みであり、記載した以外にも軽易なご意見・ご要望については、早期に対応している。</li> <li>・ なお、提案内容では運営協議会について、障がい当事者団体の代表者を招聘するとあり、同センターにとって障がい当事者の意見や要望を聞くことは重要かつ必須であることから、今年度内に必ず開催するよう指導している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業は確実かつ確実に実施しており、おおむね提案内容どおりの事業実績を上げている。</li> <li>・ また、今期残期間に実施している事業についても、提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しも立っていることから、提案内容どおりの事業実績をあげると見込まれる。</li> <li>・ H25年度終了段階で提案未実施項目が発生した場合には、次の評価において明確な実施担保がない事業は、未実施事業扱いとする。</li> </ul>	A	<p>・ 1 ページ目 (総合評価) のとおり</p>

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S~C		S~C	
③利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>・利用者増加のための工夫</p> <p>【指定管理者選定時に選定基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>提案事業に関するもの (第4次大阪府障がい者福祉計画・大阪府スポーツ推進計画に沿った提案か) (独創性、実現可能性、利用者増加の期待性、サービス向上のための取組み内容)</li> <li>年間の広報計画の内容は適切か (独自ネットワークの活用、親しみやすさ、1利用者増加の期待性)</li> <li>自主事業の提案は、利用者の増加、サービスの向上を図るための工夫がなされている提案となっているか (提案の有無、独創性、利用者増加の期待性)</li> <li>施設の設備、機能をフル活用した内容となっているか</li> </ol>	<p>(1)利用者増加のための工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>障がい者スポーツの振興に関する研究会の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>委員に学識経験者(大学教授)、障がい者スポーツ団体、パラリンピアン、障がい者スポーツ指導員等を選定し、研究会を設置</li> <li>第一回委員会を12月18日開催</li> </ul> </li> <li>ひろめる―「障がい者スポーツの市町村展開事業」 各種水泳教室の実施をはじめ各市町村の学校等に向いて障がい者スポーツの啓発、指導などの取り組みを実施</li> <li>たのしむ―「交流促進事業・生涯スポーツ事業」 チャレンジスポーツとしてのリハスポーツや交流促進を推進するための健康増進推進講習会の開催、また、体験型として障がい者スポーツ体験事業などを実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域展開事業・ファインプログラム・重度障がい者個別水泳教室</li> <li>提案2,900回 42,351人 実施1,977回 16,306人</li> </ul> </li> <li>きわめる―「競技スポーツ分野の重点実施」 大阪府障がい者スポーツ大会の開催をはじめアスリート強化のために陸上、水泳の強化練習などを実施し、選手のレベル向上を図る <ul style="list-style-type: none"> <li>アスリート強化練習会</li> <li>提案499回 6,230人 実施358回 4,507人</li> <li>選手育成練習会</li> <li>提案123回 6,060人 実施98回 3,267人</li> </ul> </li> </ol> <p>※6月10日に府立支援学校校長会に出向き、大阪府障がい者スポーツ大会への参加を呼び掛け</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>つたえる―「HPの活用・センター情報誌の発刊等の情報発信」 機関紙「アベニュー」やホームページを活用して情報発信に努力 <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、メールマガジン・スタッフブログの毎日更新</li> <li>機関紙「アベニュー」の発刊(727か所に送付)</li> </ul> </li> <li>つながる―「大阪府・障がい者スポーツ団体NPO法人系事業」 <ul style="list-style-type: none"> <li>きねづか、クラフト遊、ファインプラザ友の会等ボランティア団体と連携し、ファインエリアフェスティバルを開催(10/20)</li> <li>後援=21団体、協力=3団体、参加=21団体</li> <li>大学連携事業として <ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい乗馬体験講習会(11/9・10)</li> <li>びかっとダンス(2/6・20・3/6・20予定)</li> <li>車イステニス講習会(3/23予定)</li> </ul> </li> <li>大阪障害者フライングディスク協会の事務局運営</li> <li>近畿障がい者フライングディスク大会の開催(4/29)</li> <li>各フライングディスク大会への審判の派遣</li> <li>近畿身体障害者水泳連盟の事務局運営</li> <li>近畿身体障害者水泳選手権大会の開催(5/22)</li> </ul> </li> <li>「大阪府障がい者スポーツ振興協会」の事務局を運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府初級障がい者スポーツ指導員養成講習会(3月予定)</li> <li>大阪府障がい者スポーツ指導員現任者研修会(2/23予定)</li> </ul> </li> <li>自主事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>「ゆったりヨガ教室」の実施(週一回大ホール) 30回 1,321名</li> </ul> </li> </ol> <p>上記の実施状況から、利用者増加を図るため事業展開、広報活動を行っている。</p>	A	<p>【評価の目安】</p> <p>S=提案内容以上の事業実績をあげている。 (例:新規利用者の開拓を目的に、障がい者施設などに利用に関するアンケートを実施するなど、新規利用者の開拓を図った。など。)</p> <p>A=提案内容どおりの事業実績をあげている。 (例:提案内容どおりの事業を的確かつ確実に実施している。など。)</p> <p>B=提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しが立っている。 (例:事業実施に向け具体的な調整を進めている。など。)</p> <p>C=提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 (例:研究会の設置について、委員の人選が決まっていない。など。)</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <p>(1)利用者増加のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究会の実施について、前項のとおりより実態に即した研究が期待できる。</li> <li>全体的に見た場合、おおむね提案内容どおりの事業実施を行っている。</li> <li>支援学校長会や、各団体主催の競技大会等に出席し、ファインプラザ大阪の周知及び大阪府障がい者スポーツ大会への参加を呼び掛けており、潜在的な利用者の開拓を始めるなど、積極的な活動を行っている。</li> <li>大半の事業において、大阪府直営時(～24年度)と比較して教室内容を大きく変更せず、今までの利用者に今までどおり利用していただくなど安定的な運営を行なっている。</li> <li>大阪府障がい者スポーツ振興協会など、府内一円を管轄する団体の事務局を複数担い、大会の開催や指導者養成などを実施し、障がい者スポーツの普及・啓発を図っている。</li> <li>メールマガジンやホームページの更新、スタッフブログなどについては、提案どおり実施しているが、機関誌「アベニュー」の発行において、印刷に要する期間を見誤ったため第2四半期分の発行ができなかったものの(印刷に要する期間=2カ月)第3四半期分より提案どおり発刊している。</li> </ul> <p>・施設使用料の改定及び駐車場使用料の徴収開始により、健常者の利用は対前年同月比で約40%減少しているが、障がい者(介護者を除く実数)の利用は、前年同月比で1%の減少にとどまっていることから、障がいのある利用者の安定的な利用は確保されているものと推測される。 (H24:69,245人⇒H25:68,647人 ▲0.86%)</p> <p>・提案に対し実施回数などで差が生じている事業もあるが、事業は確実かつ確に実施しており、おおむね提案内容どおりの事業実績を上げている。</p> <p>・新規利用者などの開拓を目的に府立支援学校に協力を求めるなど、提案以上に積極的な活動を行っている。</p> <p>・また、今期残期間に実施している事業についても、提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しも立っていることから、提案内容どおりの事業実績をあげると見込まれる。</p> <p>・H25年度終了段階で提案未実施項目が発生した場合には、次回の評価において明確な実施担保がない事業は、未実施事業扱いとする。</p>	A	<p>・光明池駅とのシャトルバスの運行時間が1時間に2本であるが、運行本数は足りているのか、確認されたい。</p> <p>・運行時間も含め、アンケートなどにより、利用者の需要や利便性を検証することが望まれる。</p>

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目	④サービスの向上を図るための具体的手法・効果	<p>魅力的なプログラムの開発</p> <p>【指定管理者選定時に選定基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>提案事業に関するもの (第4次大阪府障がい者福祉計画・大阪府スポーツ推進計画に沿った提案か) (独創性、実現可能性、利用者増加の期待性、サービス向上のための取組み内容)</li> <li>年間の広報計画の内容は適切か (独自ネットワークの活用、親しみやすさ、利用者増加の期待性)</li> <li>自主事業の提案は、利用者の増加サービスの向上を図るための工夫がなされている提案となっているか (提案の有無、独創性、利用者増加の期待性)</li> <li>施設の設備、機能をフル活用した内容となっているか</li> </ol>	<p>(1) 利用者の視点に立ったサービスの向上</p> <p>① 質の高いスポーツ指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツコーチを1人（府内登録者11名）及び経験豊富な上級障がい者スポーツ指導員3人（府内登録者79人）を配置</li> <li>○ 障がい者スポーツ指導員による現場における実例体験研修（OJT）の実施。</li> <li>○ 年間研修スケジュールを組み職員研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権研修 (ビデオによる啓発研修 等 年1回)</li> <li>・ 安全管理研修 (心肺蘇生法・AEDの取扱 等 年6回)</li> <li>・ 指導研修 (教室運営、泳法指導 等 年6回)</li> <li>・ 新入社員研修 (安全管理、障がいの理解 等 年6回)</li> <li>・ アルバイト研修 (法人の理解、事業の理解 等 年6回)</li> <li>・ 資格更新研修 (泳法指導、高齢者・障がい者スポーツの留意点等必要時)</li> </ul> </li> <li>○ 他施設に類を見ない重度障がい者水泳指導の実施 提案252回 252人 実施105回 172人</li> </ul> <p>② 快適なトレーニング空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ トレーニング機器類等について日々のきめ細やかなメンテナンス</li> <li>○ 安全・清潔・快適な施設の提供のため、トレーニング室、プール等施設毎に、毎日開閉館時にチェック表に基づき機器等のチェック及び清掃を徹底</li> <li>○ 指導員スタッフの指導技術力向上のためにスタッフ間の伝承研修の実施（週1回）</li> </ul> <p>(2) 館外スポーツ施設の利便性の向上</p> <p>① グラウンドとアーチェリー場において、5～8月の間サマータイムを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常期 9時30分～16時00分</li> <li>・ サマータイム 9時30分～17時00分</li> </ul> <p>② 専用利用受付方法の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開館45分前から対応</li> </ul> <p>③ 府内各地からの貸切送迎バスの運行方法の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の要望を踏まえ光明池駅行きバスを増便 (光明池駅始発を10分繰上げ1日16便を17便に増便) また、イベント等で利用者の多い日は、臨時増便便を運行。</li> </ul> <p>④ 「ご意見箱」を受付横に設置し、毎日回収確認 提案意見については可能な限り取り入れ また、意見等に対する回答は掲示板に掲示し公表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例： ご意見：化粧をしたままプールを利用している者がいる。 措 置：11月を「プール利用マナー向上月間」として、利用者にプール利用マナーの啓発、徹底を図った。</li> </ul> <p>⑤ 利用者満足度・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者に対するアンケート調査を実施し、要望・苦情等の常時把握に努め、適切な対応と業務改善 アンケート実施期間＝10月（1か月間） 以後3か月毎に実施</li> <li>・ 各教室開催後、アンケートを実施し次回プログラムに反映</li> <li>・ 例：要望（身体障がい者の低学年のプールの回数を増やしてほしい。） 反映（平成25年度、身体・知的とも小学1～3年の教室を開催）</li> </ul> <p>上記の取り組みから、多様なサービスの向上を図ることができている。</p>	<p>【評価の目安】</p> <p>S＝提案内容以上の事業実績をあげている。 (例：満足度調査で、トレーニング環境、職員の接遇などの満足度が7割以上で、かつ、結果により提案内容を改善し、総合的に利用者視点の事業展開を行っている。など。)</p> <p>A＝提案内容どおりの事業実績をあげている。 (例：職員の接遇に関する満足度が7割以上。改善点について、対応を実施。など。)</p> <p>B＝提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しが立っている。 (例：職員の接遇等に関する満足度が5割以上7割未満。改善点について、対応を検討中。など。)</p> <p>C＝提案内容事業を実施する見通しが立っていない。 (例：職員の接遇等に関する満足度が5割未満。改善点について未対応。など。)</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <p>(1) 利用者の視点に立ったサービスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府内で11名しか登録者が居ないスポーツコーチ（下記※1参照）や、上級障害者スポーツ指導員（※2参照）を多数配置し、上質な指導及び本府計画に沿った競技性の向上を目的とした教室の開催を行っている。</li> <li>・ スタッフの指導技術向上研修など職員研修を実施し、職員の資質の向上を行っている。</li> </ul> <p>(2) 館外スポーツ施設の利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスの増便、開催教室への要望などに対し、早期に検討を行うとともに、適切な時期に対応を行っている。</li> </ul> <p>・ 10月実施の利用者アンケートの回答集計によると、利用者の6割が職員の接遇に対して「よい」以上の評価を行っており「ふつう」以上の評価では9割以上の評価を得ている。</p> <p>・ 対応できる意見要望については、適時対応を行っていることから、おおむね提案内容どおりの事業実績を上げている。</p> <p>・ 利用者意見交換会では、施設が良くても職員の対応が悪い施設などを利用することもあるが、ファインプラザは施設が老朽化しているが、職員が施設の悪さをフォローしている。など、職員サービスにおいては高評価であった。</p> <p>・ また、今期残期間に実施している事業についても、提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施する見通しも立っていることから、提案内容どおりの事業実績をあげると見込まれる。</p> <p>・ H25年度終了段階で提案未実施項目が発生した場合には、次回の評価において明確な実施担保がない事業は、未実施事業扱いとする。</p> <p>※1：スポーツコーチ 公益財団法人日本障害者スポーツ協会、その他関係団体と連携し、各種競技別の障害のある競技者の強化・育成などをおこなう者。また、<u>パラリンピックなどの国際大会に参加する選手団の監督、コーチとして活動する者。</u></p> <p>※2：上級障害者スポーツ指導員 都道府県レベルのリーダーとして、指導現場では障害者スポーツの高度な専門的知識を有し、指導技術と豊富な経験に基づいた指導と指導員を取りまとめる指導的立場になる者。また、都道府県レベルのスポーツ大会や行事の企画・運営の中心的役割を持ち、<u>全国障害者スポーツ大会に参加する選手団の監督として、選手選考やその強化・育成の責任を担う者。</u>さらに、指導者の組織運営に積極的にかかわり、地域のスポーツ振興のキーパーソンとなる者。</p>	<p>・ 1ページ目（総合評価）のとおり</p>	
						A

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
I 提案の履行状況に関する項目	⑤利用者への安全対策、施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	<p>・点検・補修の適格性、迅速性</p> <p>【指定管理者選定時の選定基準】</p> <p>1 施設管理、利用者の安全対策は、適切か（実現可能性、危機管理体制、効率性）</p> <p>2 維持管理は、効率的に行われているか</p>	<p>(1) 防災、利用者に対する安全対策及び非常時の危機管理体制</p> <p>① 毎日のオープン前に目視による施設安全点検を実施</p> <p>② 安全・清潔・快適な施設の提供のため、トレーニング室、プール等施設毎に、毎日開閉館時にチェック表に基づき機器等のチェック及び清掃を徹底</p> <p>③ 全職員対象にスポーツ事故の未然防止及び事故発生時の対処法についての安全管理研修の実施（年3回）</p> <p>④ 安全に施設を利用して頂くために、初めて利用される方に対しトレーニング講習会を実施</p> <p>⑤ 危機管理マニュアルを策定（4月1日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害などの危機事象に対処するとともに、日常業務でのヒヤリ・ハットや軽微な事故を記録（業務日報）し、職員間で情報の共有を図り事故の防止に努力</li> </ul> <p>4/13 5時33分に発生した淡路島地震発生時においては、所長、管理担当が7時30分までに職場に出勤、状況確認を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時連絡体制を確立</li> <li>・台風、地震等の個別対応マニュアルを作成</li> <li>・館内放送、通報マニュアルを作成</li> </ul> <p>⑥ 消防設備点検の実施（9月17日）</p> <p>⑦ 消防計画の策定（4月1日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防計画に基づくファインプラザ大阪消防計画概要版を作成し、職員に保持させることにより危機管理意識を醸成</li> </ul> <p>⑧ 消防避難訓練の実施（10月3日）</p> <p>⑨ 電気、設備の専門業者による日常点検とメンテナンスの実施</p> <p>⑩ 災害時、帰宅困難者のために、大阪ワークセンターとの間で「災害時における非常食の提供等に関する協定」を締結</p> <p>(2) 施設・設備の改修・整備</p> <p>① 施設、設備、外構の経年劣化による故障等の予防保全、改修整備については、所内はもちろん、府所管課と常に連携を密に情報の共有を図る</p> <p>上記の取り組みから、利用者への安全対策、施設の維持管理の万全を期している。</p>	<p>【評価の目安】</p> <p>S＝提案内容に示した安全対策等について、「危機管理マニュアル」などの策定を行い、訓練・研修も実施し、事案発生後、対応の不備等に合わせ改善などを行っている。</p> <p>A＝提案内容に示した安全対策等について、「危機管理マニュアル」などの策定を行い、訓練・研修も実施し、日頃から不測の事態に対応するため施設・設備の管理点検、情報共有を行っている。</p> <p>B＝提案内容に示した安全対策等について、「危機管理マニュアル」などの策定を行い、訓練・研修も実施している。</p> <p>C＝提案内容に示した安全対策等について、1つでも実施していないものがある。</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <p>(1) 防災、利用者に対する安全対策及び非常時の危機管理体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時連絡体制を確立し、天災の種類に対応した「危機管理マニュアル」を策定するなど、緊急時を想定した危機管理体制をとっている。</li> <li>・平成25年4月13日に発生した淡路島地震では、所長及び管理担当職員が早期（発生後2時間以内、開館2時間前）に建物の被害状況を当日の運営前に確認し通常運営を実施。</li> <li>・毎日のスポーツ機器の点検はもちろんのこと、ヒヤリ・ハットや軽微な事故を日報に記録し、職員間での情報共有に努めている。</li> <li>・軽微な事故が発生していることから、引き続き研修・訓練の実施、マニュアル等の対応方針について検証を行っていくよう指導する。</li> <li>・指定管理者の役目となっている施設の小規模修繕については、館内見回りなどにより早期発見、早期修繕を行い館の適正管理に努めている。</li> </ul> <p>・本府直営時よりスポーツ事業を受託実施していたことから、教室開催時のヒヤリハット防止など、過去に発生した事象への対応については職員間で周知、徹底されており、おおむね日常的に館内で起こり得る臨機対応については予防措置が取られている。</p> <p>・大規模災害に対する対応については、現時点で発生した淡路島地震でマニュアルに定めた初期対応については適切に実施されていた。</p> <p>・これらのことから、現段階においては、提案内容どおりの実績をあげているといえる。</p>	<p>S～C</p> <p>A</p>	<p>S～C</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット対策には、事案の蓄積が必要であるが、業務日報への記載のみになっている。特定の管理職しか確認が行われていないことから、情報共有は不十分である。</li> <li>・管理台帳を早期に整備し、重大事故につながるおそれがある事案については、職員間で検討・検証すること。</li> <li>・特に障がいのある方の利用が多い施設であることから、情報収集にとどまらない発展性をもったヒヤリハット対策を今後検討すべき。</li> </ul>

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
I 提案の履行状況に関する項目	⑥府施策との整合	<p>・ 提案の実施状況</p> <p>【指定管理者選定時の選定基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域行事や学校行事への協力の提案や、ほかの障がい者福祉の振興事業との共催の提案、または、その他府の事業等への協力の提案がなされているか</li> <li>各種就労支援事業を活用した雇用</li> <li>障がい者の実雇用率</li> <li>知的障がい者の清掃現場就業状況</li> <li>ボランティア、NPO等との協働事業の実施（内容・規模・回数など）</li> <li>施設の運営への府民参加機会の確保（内容・規模・回数など）</li> <li>当該施設での環境問題への取組みは特筆すべき取組みか</li> </ol>	<p>(1)府施策との整合性</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>大阪府障がい者スポーツ大会の開催 開催 5/2、18、19、25 参加者 918人</li> <li>ジャパンパラ水泳大会への協力 開催 7/14・15</li> <li>中級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施 開催 6/1～2/2 受講者 11人</li> <li>大阪府障がい者スポーツ振興協会事業の推進 ・大阪府初級障がい者スポーツ指導員資格養成講習会の実施 3/9・15・16（予定） ・大阪府障がい者スポーツ指導員等現任者研修会の実施 2/23（予定）</li> <li>就職困難者等の雇用就労支援として、母子家庭等就業支援センターから1名採用（6月末自己都合により退職）</li> <li>障がい者雇用率 ・（社福）大阪障害者自立支援協会＝8.86%（6/1現在） ・（公財）フィットネス21事業団＝2.968%（6/1現在）</li> <li>大阪知的障がい者雇用促進建物サービス事業共同組合（エル・チャレンジ）と連携し知的障がい者の清掃員が引き続き1名勤務</li> <li>各スポーツ競技団体と連携して練習会を開催</li> <li>きねづか、クラフト遊、ファインプラザ友の会等ボランティア団体と連携し、ファインエアフェスティバルを開催（10月20日） 後援＝21団体、協力＝3団体、参加＝21団体</li> <li>所長が地元自治会の「地域民生委員予備推薦会委員」に就任（8月26日）し、地域との連携を強化 また、地域の小・中学生の社会体験学習等を積極的に受け入れ</li> <li>環境問題への取組みとして、電気・設備の専門業者に委託常に外気温等を細かく把握し、運転時間の短縮等に努力</li> <li>その他、障がい者を対象とした大会等への出席、連携</li> </ol> <p>上記の取組みを通じて、府施策との緊密な連携、整合性が図られている。</p>	<p>【評価の目安】</p> <p>S＝提案内容以上の事業実績をあげている。 （例：能動的な働きかけによって、提案以上の成果が認められる。など。）</p> <p>A＝提案内容どおりの実績をしている。 （例：就労支援事業を活用した雇用など、数値的な提案についてすべて満たしている。など。）</p> <p>B＝提案内容どおり実施予定であり、見通しも立っている。 （例：ボランティアの活用などで、事業実施日が到来していない。など。）</p> <p>C＝提案内容を実施していない。または悪化している。 （例：障がい者の実雇用率が提案時より下回った。など。）</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <p>(1)府施策との整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第4次大阪府障がい者計画などに設定する「障がい者スポーツの普及啓発」などのため、府立支援学校長会への出席や各団体主催の競技大会開会式に臨席するなど、積極的な交流に取り組んでいる。</li> <li>また、大阪府障がい者スポーツ振興協会事務局を本府より引継ぎ、国内最高峰の競技大会である「ジャパンパラ水泳競技大会」を主催する公益財団法人日本障害者スポーツ協会との連携を維持するなど、新たな取り組みに加え今までの取り組みを確実に継承している。</li> <li>知的障がい者清掃員は、引き続き雇用。障がい者法定雇用率は、それぞれクリアーしている。</li> <li>競技団体との連携・ボランティア等の活用は、提案どおり実施している。</li> <li>ただし、就職困難者等の雇用就労得支援施策については、1名は採用に至ったが、自己都合退職後、募集中であるが現在のところ採用に至っていない。</li> </ul> <p>・就職困難者の就労に関し、母子家庭等就労支援センターに限らず、他の就職困難者就労支援センターの活用も含め、検討が必要。</p> <p>・運営開始初年度であることから、ボランティアの活用などの他の項目については、本府直営時より際立った変化は見られないが、その分確実に連携体制を引き継いでいる。</p> <p>・これらのことから、現段階においては、提案内容どおりの実績をあげているといえる。</p> <p>※なお、大阪府障がい者スポーツ大会参加者数については、府大会開催の前受託者である大阪府障がい者スポーツ振興協会（当時事務局は大阪府）の受託期間中に参加申し込みが締め切られているため今回の評価には考慮していない。</p>	<p>・就職困難者の雇用については、施設所管課の評価のとおり、他の就職困難者支援センターからの雇用も検討すること。</p>	
						A

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S~C		S~C		
Ⅱさらなるサービスの向上に関する項目	⑦利用者満足度調査等	<p>・利用者の満足度調査 ・調査結果のフィードバック</p>	<p><b>(1) 利用者満足度調査</b>            ①各教室実施後、アンケートを実施し次回プログラムに反映            ②「意見箱」の設置と口頭による意見・要望に対する回答を掲示            ③利用者満足度・要望            ・利用者に対するアンケート調査を実施し、要望・苦情等の常時把握に努め、適切な対応と業務改善            アンケート実施期間            =10月（一か月間）以後3か月毎に実施            ・利用者との意見交換会を実施            実施日=12月15日（日）            出席者=2名（健常者・障がい者1名づつ）            ・出された意見            ○意見交換会の参加やアンケートの実施について、各施設受付で、実施案内を配布するなど工夫が必要。            ○このような施設では、新しく立派な施設であっても職員の対応が悪いといったこともあるが、ファインプラザは、施設は老朽化し立派なものではないが、職員の接遇マインドがそれをフォローしている。</p> <p><b>(2) 調査結果のフィードバック</b>            ①アンケート調査における個別要望については、対応策等の検討を行い、利用者意見交換会終了後、アンケートの集計結果及び対応策について、掲示板等に掲示し公表。</p> <p>上記のような利用者満足度調査の実施及びそのフィードバックを図り、一層のサービス向上につなげている。</p>	S	<p><b>【評価の目安】</b>            S=満足度調査等で寄せられた利用者の要望等に対し、集計結果を公開したうえで、対応状況について周知している。など。            A=満足度調査等で寄せられた利用者の要望等に対し、対応のみ行っている。など。            B=満足度調査等で寄せられた利用者の要望等を聞きとっているが、一部、対応が不十分。など。            C=満足度調査等を実施していない。など。</p> <p><b>【自立支援課の評価】</b>            ・運営開始初年度であることから、運営開始後半年を経過した時点でアンケート調査を実施。211名からの回答を得た。            ・その回答を基に12月に利用者意見交換会を行うなど、利用者の意見を聞き取る取り組みを実施している。            ・意見交換会の参加者は、長年にわたりファインプラザ大阪をご利用いただいている健常者団体の会長及び、障がい者の方1名づつの2名であったが、府直営時との比較も可能な利用者であった。            ・交換会当日出された意見については、意見交換会の参加人数については、利用者側からも周知方法について意見も出されたが、施設が良くても職員の対応が悪い施設などを利用することもあるが、ファインプラザ大阪は施設が老朽化していても、職員が施設の悪さを補っている。など、職員サービスにおいては高評価であった。            ・逆に悪い評価としては、アンケート調査も含め大半の意見が施設使用料に集中している。            ・また、指定管理者として対応できる要望等には、早期に対応し、アンケート結果、またその対応についても、館内掲示板にて公開するなど、利用者の満足度向上について真摯に検討を重ねるなど、利用者視点に立ったサービスの提供を行っている。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換会の開催、アンケートの実施について工夫が必要。</li> <li>アンケートの実施にあたっては、冒頭にアンケートの実施目的を明記すべき。回答者の中には、管理者にとって不利なことを書くと、職員の対応などで自分が不利益を被ると考える利用者も居る。目的を明記することで、より利用者の本音が聞き出せる。</li> <li>アンケート内容、実施方法や結果の集計・分析について、専門的な研究を行っている大学等との連携を図るなど工夫が必要。</li> <li>障がいのある方とない方とで求めるサービスの中身は違う。障がいのある方とない方の回答は別々に集計すべき。</li> <li>意見箱の周知は、当然必要であるが潜在的な意見を聞き出すため、受付前だけではなく、更衣室内などに設置し、職員を目を気にすることなく記入してもらおう配慮も必要。</li> </ul>
	⑧その他創意工夫	<p>・その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫</p>	<p><b>(1) 創意工夫</b>            ①館内掲示物を車椅子利用者等が見やすい高さに掲示するとともに、文字を大きく、ルビ付きで掲出するなど、誰でも見やすくなるよう工夫            ②更衣室内に椅子等を設置            ③駐車券の挿入等の困難者に「リモコン」を貸与し、駐車場の出入りの円滑化に寄与            ④利用者がスポーツ（フライングディスク）競技会を自主開催できるようノウハウを提供            ⑤施設利用受付時間を45分拡大            ⑥当センターを活動拠点とするクラブ等の専用掲示板を設置</p> <p>さらなるサービス向上のため、上記のような創意工夫を行っている。</p>	A	<p><b>【評価の目安】</b>            S=新たな取り組み等によって利用者の増加、満足度の向上につながっている。または、満足度調査での利用者の評価において、全回答の9割以上の意見が「満足である。」との意見を得ている。など。            A=新たな取り組みなどによって満足度の向上につながっている。または、満足度調査での利用者の評価において、全回答の7割以上の意見が「満足である。」との意見を得ている。など。            B=新たな取り組み等によって一定の満足度を得ている。または満足度調査での利用者の評価において、全回答の5割以上の意見が「満足である。」との意見を得ている。など。            C=新たな取り組みや創意工夫は行っていない。</p> <p><b>【自立支援課の評価】</b>            ・利用料金制を導入していないことから、指定管理者の裁量で自由に決定できる項目が少ないながらも、利用者に配慮した工夫を実施。            ・アンケート（満足度）調査では、指定管理者の責務による接遇、指導満足度は、約6割の利用者が「良い」以上の評価をおこなっており、「普通」を加えると約9割の利用者が大きな不満を感じていないとの回答を得ている。            ・引き続き、利用者の満足度を向上させる取り組みに期待ができる。</p>	A	

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S~C		S~C		
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	⑨ 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	<p>・ 事業収支は計画に比して妥当か（費用対効果としての評価）</p>	<p>(1) 費用対効果（顧客満足度効果）について</p> <p>① 利用者アンケート実施結果（10月1か月間実施） 配付数250 回答数211</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接遇評価 とても良い=25% よい=35% 普通=37%</li> <li>・ 指導満足度 とても良い=14% よい=42% 普通=41%</li> <li>・ 施設満足度 とても良い= 9% よい=27% 普通=54%</li> <li>・ 管理運営満足度 とても良い= 4% よい=14% 普通=49%</li> <li>・ 総合評価 とても良い= 9% よい=29% 普通=51%</li> </ul> <p>② 利用人数(4月～12月)</p> <p>平成24年度 障がい者 92,836人 健常者 48,729人 (介助者含む)</p> <p>平成25年度 障がい者 91,506人 健常者 30,207人 (介助者含む)</p> <p>上記①②から、アンケート結果は概ね良好であるが、利用者、特に健常者の利用が減少(前年比38.01%減)しているのは、駐車場有料化、利用料値上げが原因と思われる。</p>	S	<p>【評価の目安】</p> <p>S=委託料の範囲内で、指定管理者の発意による事業などを実施しており、府が期待する以上の成果をあげている。 A=委託料の範囲内で、提案内容どおりの事業を的確かつ確実に実施しており、府が期待する成果をあげている。 B=委託料の範囲内で、提案内容どおりの事業を実施予定であり、実施した場合には府が期待する成果をあげられる見込みである。 C=委託料の範囲内で提案内容どおりの事業を実施予定であるが、実施の目途が立っておらず府が期待する成果を見込めない。</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託料の範囲内で、実施出来ることを確実に実施していることから利用者からの評価も良い。</li> <li>・ 利用改善に対する意見では、全体の7割の回答が施設使用料に対する意見であり、健常利用者の大幅な減は、この施設使用料（駐車場含む）の改定が原因であると考えられる。</li> <li>・ 指定管理者が提供するサービスについては、障がいのある利用者（介護者を除く実数）が前年同月比で約1%足らずの減少にとどまっており、大きくサービスの低下をきたした項目はないと見込まれる。 (H24: 69,245人⇒H25: 68,647人 ▲0.86%)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車料金導入により障がいのない方の利用が4割減少し、ファインプラザ大阪の設置目的である「交流」機能が著しく低下している。</li> <li>・ 使用料確保のために大幅な利用者の減をもたらしたことは、本末転倒な状況であり、設置目的を果たすため、施設使用料の設定を行う大阪府において、早期に改善すべき。（再掲）</li> </ul>
	⑩ 安定的な運営が可能となる人的能力	<p>・ 事業実施に必要な人員確保・配置</p> <p>・ 従事者への管理監督体制・責任体制</p>	<p>(1) 職員体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案どおりの体制で実施</li> </ul> <p>(2) 管理監督・責任体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庶務規程や危機管理マニュアルで管理体制・責任体制を明確にしている。</li> <li>・ 利用者の意見・要望に対する対応等について、所内ミーティングにおいて情報共有し、人的能力のアップに努めている。</li> </ul>	S	<p>【評価の目安】</p> <p>S=満足度調査などの意見や、事故等の不測の事態に対応するため、提案以上の職員配置を行っている。 A=提案内容どおりに障がい者スポーツ指導員、理学療法士、手話通訳者などの有資格者を配置している。 B=提案内容どおりに有資格者を配置しているが、満足度調査で職員配置などに関し3割以上「不満である。」との意見がある。 C=提案内容どおりに有資格者を配置していない。または、提案どおりに有資格者を配置しているが、満足度調査で職員配置などに関し5割以上「不満である。」との意見があり、かつ、その意見に対する対応を取っていない。</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営開始初年度であることから、不測の事態に対応するため可能な限りの人員（非常勤）を配置をしている。</li> <li>・ また、大阪府障がい者スポーツ大会開催日や全国障害者スポーツ大会派遣期間など館内での従事職員が減少する日についてはサービスの低下を来さぬよう非常勤対応などにより職員を配置している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1ページ目（総合評価）のとおり</li> </ul>
	⑪ 安定的な運営が可能となる財政的基盤	<p>・ 法人の経営状況</p>	<p>(1) 財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファインプラザ大阪運営事業共同体の構成法人である、社会福祉法人大阪障害者自立支援協会及び公益財団法人フィットネス21事業団については、指定管理者提案時と事業内容、事業規模、経営状況等に変化なく健全な状況である。</li> </ul>	S	<p>【評価の目安】</p> <p>S=提案時と比べ、同様以上の収支状況であり、安定した経営状況である。 A=提案時と比べ、一部懸念材料も見られるものの、同様程度の収支状況にあり、安定した経営状況の範囲にある。 B=提案時に比べ、同様程度の収支を下回っているが、安定した経営状況の範囲にある。 C=提案時に比べ、同様程度の収支を大幅に下回っており、安定的な経営状況とは言えず、事業運営が期待できない。</p> <p>【自立支援課の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価委員（公認会計士）に参考評価をいただく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成団体の一部事業に財政上の懸念材料がみられるが、両法人を総合的に見ると、指定管理の経験や規模等などから、安定性を否定するものではない。</li> <li>・ 直近の財政状況を「評価の目安」に照らし合わせると「A評価」が妥当である。</li> </ul>